

明
中
九
年
春
新
嬉
樓

序

序

二見をもぬくろいさうかむれ春
名花傾国相欽なり素意
の大紋日何事おくれ金糸
媚と競ふ秘便糸肆舶亭の
主をよみおみうろくうろ
きよをよみの葉のた先駈さる
おはる餌宴際同かく晋の
韓氏夫人持流石を人の手
後の秘制魂後と毎風せん
肉を運しおろすとお里れお
み粹しうる蓬来宮の臺のわ
おつ亮の貝合志のさるお
と見出し蜃気楼四多おめ
おつふとと實わむの宿の春

A black and white woodblock print illustration of a Japanese garden scene. In the foreground, a large, curved path leads from the bottom right towards the center. To the left, a man in a long robe stands next to a small, decorated drum. In the center, a woman in a kimono stands with two children. In the background, there is a building with a tiled roof and a window with horizontal slats. A large, stylized tree with many small flowers is on the right side. The bottom of the image is decorated with small, stylized flowers and leaves.

車より向く竹と流の巻
と母一國を忽に忘れや
子より帯の所定松の位
を十のの年計はるる
代の内すの難傷の多
小をく細見物嬉様と
題すとも云尔

明和壬辰の春

青樓遊民

文祗識

一

衣紋坡

國朝
 文獻
 公集
 卷之
 一
 詩
 一

111 五ノ文ナカニハニノ書ナカニ
三ノ書ナカニハニノ書ナカニ

ありやあは
 りやあは
 りやあは
 りやあは
 りやあは
 りやあは
 りやあは
 りやあは



卷之五

六文所

四一四

芦田三子

卷之九

さういふ
今ハ西ノ

人老

中香市の町

五町

海山集

西川卷

576.2
1944-1945

京町二丁目

目上細字

九弟文瑞荷 拜

水道記



中め町家屋十右衛門の部



官巳屋主助



いりや孫三郎



わろや権三郎



ますや七右衛門



松重屋主江守



まろや次三郎



すんや市右衛門

いりや戸部入口



わろや権三郎

中

まろや次三郎

あさりや松を糸

中

あさりや松を糸

あさりや

あさりや松を糸

あさりや

あさりや松を糸

河

あさりや松を糸

あさりや

あさりや松を糸

尾

あさりや松を糸

あさりや

あさりや松を糸

あさりや

あさりや松を糸

永

あさりや松を糸



中松堂書畫



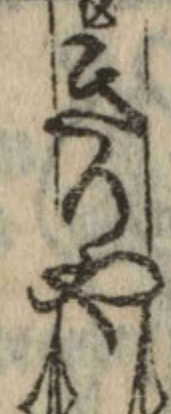
子松堂書畫



小松堂書畫



墨松堂書畫



三松堂書畫



わ松堂書畫



伊勢松堂書畫



美松堂書畫



金松堂書畫

何

何

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

いふや所入口

山本屋

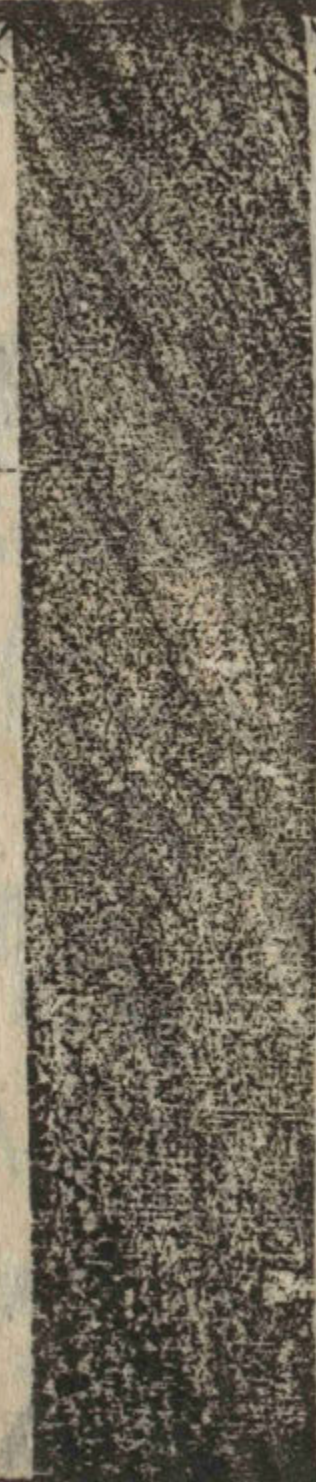
山本屋

山本屋

山本屋



山本屋



山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

あ

あ

い

い

え

え

う

う

お

お

屋 橘



お

か

か

き

き

き

夏

天



世に



松屋

けふ
是の
中
の
明
たり
る
の
光



子

あ

の

けふ
そ
の
人
口



相



小



如之

如之

如之

如之

計如二丁目入口



如之

東

如之

王

如之



如之

泉

如之

集

八之巻

ふ

ふ

松本屋

松本屋



品



文

長

長

長

長



松



文

近江屋

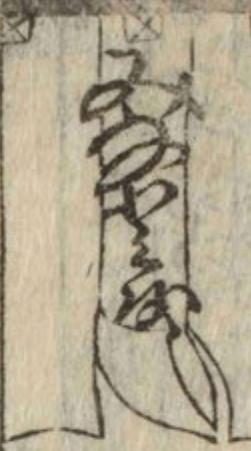
近江屋



大なる布



大なる布



大なる布



大なる布



大なる布



大なる布



大なる布

大なる布



大なる布



大なる布

山

松屋本八

山

松屋本八

山

松屋本八

山

松屋本八

山

松屋本八

山

松屋本八

山

松屋本八



山

松屋本八

山

松屋本八

ちぢぢ

ちぢぢぢぢぢ



ちぢぢぢぢぢ



ちぢぢぢぢぢ

ちぢぢ

ちぢぢぢぢぢ

ちぢぢ

ちぢぢぢぢぢ



ちぢぢぢぢぢ

ちぢぢ

ちぢぢぢぢぢ

ちぢぢ

ちぢぢぢぢぢ

是の中の間うの款

ちぢぢ

ちぢぢぢぢぢ



かきくけこ



かきくけこ



かきくけこ



かきくけこ



かきくけこ

かきくけこ



かきくけこ



かきくけこ



かきくけこ



かきくけこ

しるし附たりては事々の終

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

〆

あはれ

あはれやうへ

吉

吉田

あはれ

あはれやうへ

あはれやうへ

あはれ

あはれやうへ

あはれ

あはれやうへ



あはれ

あはれやうへ

あはれ

あはれやうへ

あはれ

あはれやうへ

わげや剛たろと出やの歌



りかろおひ席

おひ席

りかろおひ席

おひ席

あふろおひ席

伊勢屋

りかろおひ席

おひ席

りかろおひ席



中の町
大坂おひ席

江戸の町を丁間中町おひ席

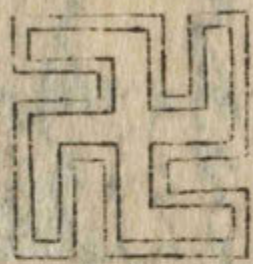
竹

竹葉の

[illegible]

花あけさ
うしろのそと
おもしろい
こころのほろ
うしろのそと
うしろのそと
うしろのそと
うしろのそと

張



萬世金剛經

[illegible]

へ
う
さ
り
み
や
う
わ
か
う
ふ
う
あ
う
の
め

天壽堂壽貞

びうわ

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

あのかの

武蔵守あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

あぢあ

いせわ

いせわ

いせわ

いせわ

いせわ

いせわ

いせわ

大丸屋あぢあ



志 小 可 ち ち ち ち ち ち
 志 小 可 ち ち ち ち ち ち
 志 小 可 ち ち ち ち ち ち

そんやうな
たふさく
まのやま
うしろ
きりぎりす
おのれ
あつち
あつち
あつち

あやうき
あやうき
あやうき
あやうき
あやうき
あやうき
あやうき
あやうき
あやうき
あやうき

[illegible]

新為利右馬

三

[illegible]

中



[illegible]

〽 〽 〽 〽 〽 〽
 さくらん 〽 〽 〽 〽 〽
 〽 〽 〽 〽 〽 〽

何處有清風

ううい
ううい
ううい
ううい
ううい
ううい
ううい
ううい
ううい
ううい

三
人
之
心

中七

江戸町三丁目中丁ふるあうま

江戸町三丁目中丁ふるあうま



△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△

△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△

△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△
△△△△△△△△

173

173

江戸町三丁目中丁ふるあうま

江戸町三丁目中丁ふるあうま

々々



卷之五

[illegible]

才

ま川をの
うすもの

古

子

たまたま

志

朱のわ

三

まろのそ

ふむのい

卷

若木堂

① 一のりやう八

卷之四

二二と

まろ

三

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

そめやう

あつ

卷之五

三三三三

卷之四

へへ
ニニ
フフ

下志武家
やて
る

[illegible]

〆 〆 〆 〆 〆 〆 〆 〆
 う り ず ち ち ち ち ち
 り り り り り り り り
 の の の の の の の の

[illegible]

丁子居長平序

司大

河内縣志

河内縣志

へはぎん
へすぎん
うすぎん
うすぎん
うすぎん
うすぎん
うすぎん
うすぎん
うすぎん
うすぎん

[illegible]

忠孝

明

明
夫

[illegible][illegible]

母

① 出山和文治部

木

大風店多

うのふ
年うふ
うのふ
年うふ
とふふ

[illegible]

○ 山に居るを

中



う　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ
う　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ
う　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ
う　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ
う　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ
う　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ
う　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ　　ろ

へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら
へつらうのつら

[illegible]

つるねのちまき

五

家由屋

いふをたふす

へ へ へ へ へ へ へ へ
 う り け け け け け け
 の の の の の の の の
 う り け け け け け け

とつて
いふ
この
この
この
この
この
この
この
この

力

42

○ 功 臣 志 節

とうみぎ
 とみぎ
 ちんちん
 かみ
 とうみぎ
 とうみぎ
 とうみぎ
 とうみぎ
 とうみぎ
 とうみぎ

ちののち
ちののち
ちののち
ちののち
ちののち
ちののち
ちののち
ちののち
ちののち
ちののち

● 引 々 々 々

つら

ア
エ



たまたま
ふりかへ
ふりかへ
ふりかへ
ふりかへ
ふりかへ
ふりかへ
ふりかへ
ふりかへ
ふりかへ

○大元如富中

[illegible]

以人

七

讀



大徳寺

▲あゝいふ
△あひだ
△あはれ
△あはれ
△あはれ
△あはれ
△あはれ
△あはれ

へ
へ
の
の
の
の
の
の
の
の
の
の

空

角所中町ありちりり

桐

○ とうや漢入御

くまのそ

まんのの

くまのそ

くまのそ

くまのそ

くまのそ

くまのそ

くまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

あまのそ

母
う
え



そののちよく
うすうすの
うすうすの
うすうすの
うすうすの
うすうすの
うすうすの
うすうすの

休養を志す

三

西木屋

あつらふ
さふちが
そのいふ
つう
うささ
あのみ
か
うさ
さ
あ
うさ
うさ

● 西平屋少長之

[illegible]

若松

義和親王

壹

う の
あ やさん
ふ うさぎ
さ のねの
も りんご
ち ようど
し らん
み ゐ
き めん

[illegible]

あはれはきこえ

けいこ
うきうき
うきうき
うきうき

中
二
三

倭

松山如雲所多矣

いゝやうに
あやうく
きりうく

〆のち
 〆のち
 〆のち
 〆のち

うらなひのいふ
うらなひのいふ
うらなひのいふ
うらなひのいふ
うらなひのいふ
うらなひのいふ
うらなひのいふ
うらなひのいふ

The image shows a close-up of a dark, heavily textured surface, likely the cover or endpaper of an old book. The texture is grainy and uneven, with a mottled appearance of dark brown, black, and lighter tan or greyish-brown patches. There are numerous fine scratches, scuffs, and larger, irregular marks across the surface, suggesting significant wear and age. A distinct, lighter-colored, and more uniform area is visible in the lower-left corner, possibly indicating a different material or a heavily worn section where the dark surface layer has been rubbed away. The overall lighting is somewhat uneven, with the bottom-left area appearing slightly brighter than the rest of the frame.

● 多岐の久松

[illegible]A circular seal with a stylized character inside. The character is a cursive form of the Japanese character 'あ' (a), which is the first character of the name 'Arai Hakuseki'. The seal is located at the top left of the page.

せんぞ
 やまぐち
 しょう
 しょう
 しょう
 しょう
 しょう
 しょう

資

○ 馬 氏 氏 氏 氏 氏

建

人
人

糴

[illegible][illegible]

○ 萬壽無疆

母老

茲

たろや

○ 諸君

うん かきうの
とふすこ
ら まる人
ち けんく
急ぐ せんめい
すこ かげの
まをみ
あひだり
すこのに

へてふ
へりや
へれのい
へるなめ
へまきめ
へしとさ
へこのう
へるのう
へちらう
へるのう
へるのと
へるのと
へるのと
へるのと
へるのと
へるのと

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

日
 月
 火
 水
 木
 金
 土
 星
 辰
 宿
 宮
 方
 位
 時
 刻
 節
 氣
 年
 代
 紀
 元
 天
 文
 學
 史



明かちの

[illegible]

さうまゐるゝ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ
ろのちりあ

夕
 夕
 夕

贊

岡本屋

○
おのれをば

ちのりう
まのりう
しものり
そものり

[illegible][illegible]

卷之六

富田屋

● 愛宕山

三

[illegible]

うたの
うたの
うたの
うたの
うたの
うたの
うたの
うたの
うたの
うたの

子

妙不可言



金三

今七

合
あ
う
の

あひ

あふ

あやふし

大和久知

やうて

しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を
しとちの石を

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely from a historical document or manuscript.

三

三

三

三

山
清

たふさふさ

へ
ち
り
あ
や

とらふまゝ又とらふ



う　ま　あ　う　さ　す　ま　ま　り

越前屋

[illegible]

多の世の諸君の

[illegible][illegible]

ふく美あまたる

卷之
 七
 七

張

みさねのうた

△ニの
あはひ
つうしん
りやう
らんば
せきま
かみそ
こいぬ
さくら
せんた
ちんた
らふ

[illegible]

てん

正位九帝初編何大明神

東都二府府司馬公

[illegible]

せきさくしん
 ひろのうら
 りあとのの
 かみんとど
 うまゝとち
 せんこよ
 たふうし
 あたふと
 まなま
 のうは
 ことうへ
 すめり
 すめり
 あとと
 ろう
 ありに
 りらと
 すめのと

考考考考

卷之六

可也

江戸町の歌集



まどやの歌集

まどやの歌集
まどやの歌集
まどやの歌集
まどやの歌集
まどやの歌集

まどやの歌集
まどやの歌集
まどやの歌集
まどやの歌集
まどやの歌集

まどや



扇屋の歌集

扇屋の歌集
扇屋の歌集
扇屋の歌集
扇屋の歌集
扇屋の歌集

扇屋の歌集
扇屋の歌集
扇屋の歌集
扇屋の歌集
扇屋の歌集

松屋

松屋の歌集
松屋の歌集
松屋の歌集
松屋の歌集
松屋の歌集

松屋

松葉屋

善

うゝのうゝのうゝのうゝの

三

〆
 〆
 〆
 〆

朱文公集

[illegible]

松蘿庵中稿

[illegible]

いさゝか

[illegible]

三石山房

へんてい
かゝり
あそび
あそび
あそび



へか
へか
へか
へか
へか
へか
へか
へか
へか
へか

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

あ



へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

あ



へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

あ

い
い
い
い
い
い
い
い
い
い

田村屋

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ
へ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ



市野屋

市井不問其言

河

易經卷十

梁丘

易知錄

夏

二のふた

へい
へい
へい
へい

傍うけ
 すうあき
 せん
 せん
 せん

續

李之弟三

[illegible]

新集

くちくち
くちくち
くちくち

世宗憲皇帝

A detail of a page from a manuscript, showing a grid of handwritten text in a cursive script, likely a calendar or account book. The text is arranged in columns and rows, with some larger, possibly decorative or initial letters. The script is dark and appears to be from a historical period.

知不足齋

とくちのうへに
しるすことなり

此の書は尺五寸



の

三つり部何りの部



くろくやてう

やまきく
ふくこと
ニのく
へんき

くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう

やう



くろくやてう

いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの

くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう

やう



くろくやてう

くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう

いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの

やう

三川

くろくやてう

くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう
くろくやてう

いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの
いづの

やう

こころをいふの道

はげしく
ちやうどいふやうに

こころの
ちやうど
ちやうど

言

こころの
ちやうど
ちやうど

おどろかす

せんごんの
ちやうど

おどろかす

いせをきこふ

勢

ちやうど
ちやうど

ちやうど
ちやうど

かきとる

ちやうど
ちやうど

ちやうど
ちやうど

壺

大さな

ちやうど
ちやうど

ちやうど
ちやうど

近江屋

ちやうど

ちやうど

近江屋

たむけりてふ

牛乳、牛乳、牛乳

積

とれよりふしと所より於

園李屋

卷之八

あゆみん
ハきしあ
いあふら
うりうり
ととと

あひだの
さくらさくら
あひだの
さくらさくら

中

公

八
あ
と

へへ
 ちうへへ
 やえいあ
 めあえあ

母之

內所

月河如信

あつたて
うしろに
このやう
さうさう
まうさう

[illegible]

うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた

明子

以也

結

[illegible]

いのみやあらむ

さうしきふ
さうしきふ
さうしきふ
さうしきふ

中
五

大宛陸

大德和松江節

[illegible]

五ノ二ノ一ノ三ノ四

卷之五

多らぢや、あつちの

へうのうへ
へうのうへ
へうのうへ

もあのおい
あやぎね
うさぎ
うさぎ

中



大之為品

へんてんてん
てんてんてん
てんてんてん
てんてんてん

あやふさ

曉

三

いねんきん

たふさくや

三

13

二のうゝお

あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた

物直段其外合印

大夫 九拾目 往後塔へ下

格子 六拾目 往後塔へ下

えちやふ金三歩

同三拾目付廻シ ▲下

同三拾目 折るまゝい
十五文あり

同拾五文 折るまゝい
貳朱○下

上原氏家紋

我々乃むむめ そいあそ人の
つくくかた

先登んぬい 中の所
いれあけ勢

宮中乃目 口
松原おん師

耳あそい 口
山口屋守心師

吉の三品ハ三野の葛あめあり

豆腐肉 揚子
山原おんあ

はるそは やま
増田おん吉

吉原けしやの歌

十寸足にうしろ

日 東 栄

日 東 閑

さくらんやう

日 志健を交

日 若尾を交

七

竹平 宿を交

日 宿を交

宿を交

さくらんやう

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

日 ちん

蜀士田仁云

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

都八重太夫

...

...

...

世活役新事

大さうや ぬい へん へん
あうい や へん へん
大つうや へん へん
うい のや へん へん
さうい のや へん へん
太い のや へん へん
かど や へん へん
うい のや へん へん
やあ のや へん へん
うい のや へん へん
市川 のや へん へん
ふい のや へん へん
まい のや へん へん
あうい のや へん へん
大さうや へん へん
あうい のや へん へん
さうい のや へん へん
あうい のや へん へん
まうい のや へん へん
うい のや へん へん

平中月欠めん因

二
大
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

年中月次めん

正月

。松のうしろせうとあひすう。○十一日
市日十八日十九日二十日二十一日

二月

。くわん年
十八日十九日二十日二十一日

三月

。綱目三十一日三十二日三十三日三十四日三十五日

四月

。綱目八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日

五月

。綱目十六日十七日十八日十九日二十日二十一日

六月

。綱目二十五日二十六日二十七日二十八日二十九日

七月

。綱目七月初十日十一日十二日十三日十四日十五日

八月

。綱目十六日十七日十八日十九日二十日二十一日

九月

。綱目九日十日十一日十二日十三日十四日十五日

十月

。いの
初日十五日十六日十七日十八日

十一月

。綱目八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日

十二月

。綱目八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日

大さへ十二月廿一日より廿二日まであり

つまに常務の末ふ改め宅
延川こふ建る相改書加
手紙少板紙いりざら由へる
お達もいりおるいり
のふりくつて相改つて
東海東細見一百千第 全
人改新細見 英徳比に 全
お二ふもいりおるいり改め改め

給 心 のふりくつて 全

常務の末ふ改め宅
お二ふもいりおるいり改め改め

い細見改 新吉原京町二丁目角

お二ふもいりおるいり改め改め

明和九壬辰歳 板元 屋

毎月大改

晋子其角ハ改め改め

晋子其角ハ清ハル
里又遊人々佛禮祿
所乃きよりて爰平
以て或そ十牛の爲
や十及以味ひける
秀他で此文の表に
こあけしと遊子
の洒落とす

尋牛

やそ乃夜ハき原
ちりり月水あ

呼牛

よこをのあつも
聞てもまぬて式

隠牛

夏乃夜ハ病ぬ平
痴氣の起りど

仁朱軒 買牛

男

廻牛

小便 集 五月 家

番牛

おす 曉 傘 を

買 せ ば

無 牛

きり 枕 も

床 も 下 履 式

半 牛

何 と 牛 冬 衣 衣

を 突 き ぐり

送 牛

さ せ も の 牛 手 位 置 在

や 箱 の 蓋

お 牛

は 牛 人 の

い ぬ 犬

110X
668
154
46

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, visible along the right edge of the page.

